

SRC外周フレーム新設による使いながらの補強

角地を敷地とするため道路側フレームの耐力と剛性が不足する建物に対し、道路側外部よりSRC外周フレームを新設する耐震補強方法である。建物内部の補強個所が殆ど無いため建物を使いながらの補強工事が可能となり、同時に新設外周フレームのデザインにより外装のリニューアルが可能となっている。

【特徴】

- 建物外部からの工事が可能で建物内部の補強が殆ど無く建物を使いながらの工事が可能となる
- 外装リニューアルを同時に施工できる
- 室内有効床面積の減少が少なくほぼ現状の室内環境が確保できる

【性能・適用条件】

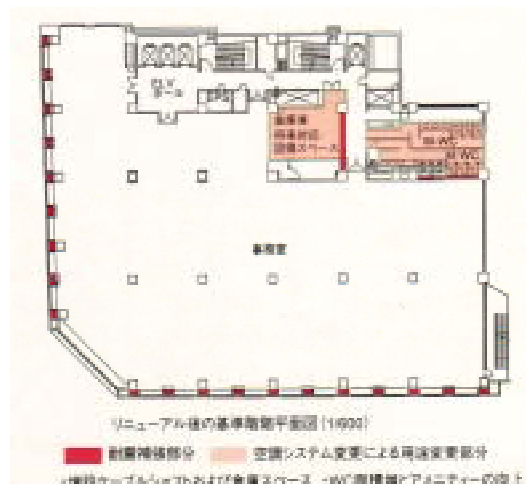
- 耐力の上昇と共に建物のねじれが抑えられ偏心率が改善する
- ブレース補強工法と違い補強部材が既存構造と同一の構造種別となりなじみが良い
- 建物外部からの工事が可能で施工性が良い

【建物概要】

- 所在地：東京都港区西新橋 1-6-21
- 主用途：業務ビル
- 建築面積：1,590 m²
- 延床面積：17,825 m²
- 階数：地上 9 階/地下 5 階
- 構造種別：鉄骨鉄筋コンクリート造
- 標準工期：30 ヶ月
(建物を使いながら設備を含む内装仕上げ工事に対し 2 フloor 毎のローリング工法を採用)
- 標準工費：6 億円
- 採用補強法：外周フレーム補強工法
- 平成 13 年度 BELCA 賞受賞



改修前外観



改修後の基準階平面図